

科目名	英語演習 I	英語科目名	English (Advanced I)
開講年度・学期	平成 28 年度・通年	対象学科・専攻・学年	4 学年 全学科
授業形態	講義・演習	必修 or 選択	必修
単位数	3 単位	単位種類	履修単位
担当教員	有坂顕二	居室	専攻科棟 2 階
電話	内線 191	E-mail	arisaka@[小山高専のドメイン名]
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 授業で扱った単語（第一アクセントの位置が示せることを含め）や熟語、文法事項が定着したことを示せるようになること、加えてそれらの知識や既習の知識を用い、日常生活で使うレベルの表現の英作文ができること。		⑥〇 ③	E (f)
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. (1) 中間・定期試験合わせて 4 回の平均が（満点中）60%以上となっている場合、若しくは(2) 試験の平均と、提出を指示した「全て」の課題の内容（及び授業中の口頭発表の内容と回数）等を設定水準に基づいて評価した結果（の点数）との合算が、所定の基準を満たしたと認められる場合、目標達成とする。			
評価方法			
評価点は基本として、下記項目に記載された重み付けをもって算出する。ただし上記の評価方法を見て分かる通り、その割合はあくまで基本であり、変更もあり得る。場合に応じ全てを考慮した上で、総合的に評価する。			
1. 中間・定期試験 4 回の点数（の平均点）（約 90%）			
2. 提出課題（及び授業中の口頭発表の内容と回数）（約 10%）			
授業内容		授業内容	
1. ガイダンス		16. Unit 5 Traditional Japanese Cuisine	
2. Unit 1 Box Stars		17. Unit 5 Traditional Japanese Cuisine	
3. Unit 1 Box Stars		18. Unit 5 Traditional Japanese Cuisine	
4. Unit 1 Box Stars		19. Unit 6 The Cost of Convenience	
5. Unit 2 Tearing Down Language Barriers		20. Unit 6 The Cost of Convenience	
6. Unit 2 Tearing Down Language Barriers		21. Unit 6 The Cost of Convenience	
7. Unit 2 Tearing Down Language Barriers		22. 後期中間試験（持ち込み不可）	
8. 前期中間試験（持ち込み不可）		23. 答案返却と説明	
9. 答案返却と説明		24. Unit 8 Operating Rooms on Wheels	
10. Unit 3 Punching Back		25. Unit 8 Operating Rooms on Wheels	
11. Unit 3 Punching Back		26. Unit 8 Operating Rooms on Wheels	
12. Unit 3 Punching Back		27. Unit 9 Off the Tourist Trail	
13. Unit 4 Waking Up Sleeping Patents		28. Unit 9 Off the Tourist Trail	
14. Unit 4 Waking Up Sleeping Patents		29. Unit 9 Off the Tourist Trail	
15. Unit 4 Waking Up Sleeping Patents		30. まとめ	
前期定期試験（持ち込み不可）		後期定期試験（持ち込み不可）	
キーワード	英語演習 I 外国語 リスニング リーディング ライティング		
教科書	What's on Japan 9・NHK BS English News Stories（金星堂）		
参考書	英和・和英・英英辞典 NHK 英語テレビ・ラジオ講座等、各種参考書（特に定めない）		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	英語 IA, IB, II, III, 英会話, ライティング A, B		
現学年の関連科目	英語表現 I 英語表現 II		
次年度以降の関連科目	英語演習 II		
連絡事項			
学生へのメッセージ：			
1. 予め、各 unit の script に出てくる重要英文や単語を抜き出したプリントと英作文のプリントを配布。			
2. 授業には「必ず」英和辞典を（できれば和英辞典も）携行すること。			
3. 上記の「各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法」からも分かるとおり、課題提出が単位取得の重要な鍵となる場合がありますので、課題を提出する際は必ず 完全な形で、必要となる人は全て 提出して下さい。			
※この授業計画はあくまで予定であって、進度が変わる場合は予め授業中に指示します。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 29 日		